

平成25年度学術情報リテラシー教育担当者研修  
グループ討議成果物

# 学生をあえて『困らせる』

効果的な指導内容を考えるにあたって

テーマ： 指導内容 / 7班

発表日：2013/10/18  
会場：大阪大学

# 問題点は なんだろう？

---

× すぐあきらめる



• 成長がみられない



• 自主性も育たない



• 何を求めているのかわからない

だから・・・

図書館も困っている！！

負のスパイラルが起きている

ニーズの把握が  
できない

教育内容が  
面白くない

教員にも  
興味を持って  
もらえない

卒業までの  
到達点が  
はっきりして  
いない



じゃあ どうする？

---

困る機会をあえてつくる

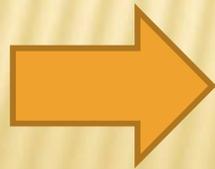
自分が困らないと覚えられない

# こうしたら どう？



グループワーク

小さな課題をあたえて、解決させる



経験値UP!

# 『学生主体の学び』が実現すると・・・

## すてきな連鎖反応

到達点が見える

アクティブ  
ラーニング

ニーズの把握



連携

業務軽減

# 図書館員

うれしい 悲鳴

こまっちゃう～

